



ともに歩もう
未来へつづく ケヤキ道
Zelkova row of trees 100th Anniversary



歴史が息づく。
未来が芽吹く。

特

別

展

武蔵府中の ケヤキ並木

市制施行70周年記念

四季の移ろいを感じ、
憩いの場でもあるケヤキ並木。

馬場大門のケヤキ並木国天然記念物指定100周年記念

いつ生まれ、どんな姿をしていたのか、
その永い歴史をひもとく。

2024/12/7(土)
～
2025/1/13(振)

府中市郷土の森博物館

- 開館時間 9:00～17:00
入場は16:00まで
- 休館日 12/9・10・16・17・23・24、
12/29～1/3、1/6

〒183-0026 東京都府中市南町 6-32
TEL 042-368-7921

<https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

- 観覧料 博物館入場料でご覧いただけます。
博物館入場料：大人 300 円、子供 150 円
4 歳未満無料
- 主催 府中市郷土の森博物館運営グループ
公益財団法人府中文化振興財団・株式会社
五藤光学研究所

特別展 ケヤキ並木 武蔵府中の

空から府中を眺めると、中心部を南北に伸びる緑のベルトがあります。全長 600 m もある、大國魂神社の参道・ケヤキ並木です。折々で姿を変えるこの並木は、府中に暮らす人たちに季節の移ろいを感じさせ、憩いの場ともなっているといっ
てよいでしょう。また、京王線の府中駅のすぐ脇に連なるため、訪れる人たちにも、府中が緑豊かな町であることをアピールしてくれています。

大國魂神社は、武蔵国の総社です。総社とは国々で国内諸神を合祀する社で、平安時代後期の 11 世紀に各地に成立しました。武蔵総社の成立も同じ頃と考えてよく、国内主要六神を祭神としたことから、〈六所宮〉とか〈六所明神〉と呼ばれ、崇敬を集めました。ケヤキ並木は、この歴史ある

古社の参道なのです。

関東大震災の翌年、1924 年（大正 13）に、このケヤキ並木は〈馬場大門ノ櫟並木〉の名称で国の天然記念物に指定されています。日本の天然記念物の指定は 1922 年から始まっていますから、とっても早くに指定されたことになります。そして、今年、2024 年は指定から 100 年という記念すべき年です。

この記念すべき年に、ケヤキ並木のはじまりや、かつての姿について改めて考えてみます。そして、並木を守り伝えてきた人たちの取り組みにも光をあてて、今日までの永い道のりをたどってみたいと思います。



①



③



⑤



②

①馬場の寄進碑（江戸時代後期か） ②馬市が行われていたことを示す制札（大國魂神社蔵） ③およそ 100 年前のケヤキ並木（1919 年刊行の『東京府史蹟』より） ④ケヤキ並木が鉄道が分断（1924 年発行の京王線と玉南鉄道の沿線案内） ⑤ケヤキ並木を走るボンネットバス（1961 年、府中市秘書広報課提供） ⑥歩行者天国になったケヤキ並木（1970 年、府中市秘書広報課提供）



⑥



④